

### プロジェクト紹介

国立がん研究センターは蓄熱式冷房設備によって院内の冷房を行っています。

蓄熱式冷房設備の熱源機器(冷房用の冷水を冷やす機器)であるチラー(COP4.54)を高効率ターボ冷凍機(COP5.31)に更新することで電力消費量を削減し、CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組めます。

この熱源機器は電力供給量に余裕のある深夜11時から朝8時まで蓄熱しています。蓄熱された冷水を電力使用量が最大となる時間帯に使うことで、冷房用熱源機器(昼間用)の運転台数を減らすことができるため、電力使用量の最大値を抑えることができます。



チラー(更新前)



ターボ冷凍機(更新後)

プロジェクトの実施場所	東京都中央区
削減量(予測)	年間 83 t-CO <sub>2</sub>
在庫量	未発行
クレジットの次回発行予定	2012年度中
1t-CO <sub>2</sub> あたりの希望単価	未定

問い合わせ先:

(独)国立がん研究センター施設課施設企画班

TEL: 03-3542-2511 担当: 松崎

HP: <http://www.ncc.go.jp/jp/>